

転移性脊髄圧迫に対する緊急照射のご案内

-医療機関のみなさまへ-

このたび転移性脊髄圧迫に対して、週末・連休中も放射線治療ができるように3施設（高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院）で輪番制で対応することとしました。以下を参考に、ご相談ください。

転移性脊髄圧迫とは

脊椎・脊髄腫瘍が脊髄を圧迫し、疼痛・脊髄神経障害を起こす病態のことで、症状出現から数時間で麻痺が完成する場合があります、発症後24時間以内の治療が勧められます。

注意すべき症状

- ・強い苦痛を伴う、これまでの痛みとは異なる、脊椎の一部（特に脊椎上部や頸部）の背部痛
- ・物を持ち上げたりするときに体勢によって変化したり、夜間覚醒や不眠の原因となるような、だんだん強くなる脊椎の強い痛み
- ・脊椎で始まり、胸や腹部に広がる痛み
- ・脚や腕に走るしびれや痛み
- ・新たに生じた腕や脚の巧緻運動障害・脱力感、歩行困難
- ・膀胱直腸障害

参考文献：骨転移診療ガイドライン改訂第2版



診断から搬送の流れ

転移性骨腫瘍の脊髄圧迫による麻痺の診断（他疾患除外）



輪番病院へ電話相談、基本的に対応は、翌日中となります。
それまでは、「デカドロン」を投与してください。



輪番病院へ搬送
放射線治療実施/入院 翌平日には、依頼元へ転院予定

輪番について 金曜夜間～日曜日中（土曜含む）/祝前日夜間～祝日日中

施設名		連絡先	
高知大学医学部附属病院	第1・3週	時間外受付	088-866-5815
高知医療センター	第2・5週	代表	088-837-3000
高知赤十字病院	第4週	代表	088-822-1201